市政に全力
活動レポート 128

コロナとカジノが争点

横浜市会議員　こんの典人

横浜市長選挙の投票日まで25日。つまり、25日後には新しい市長が誕生することになります。

1割の得票で市長に？

前回の市長選挙の投票率は37・2％でした。今回の市長選挙での有権者数は約313万人、前回同様の投票率であれば約30万票の得票で新しい市長が誕生することになります。有権者数の一割にも満たない数です。このことは、俗に言われる組織票を持つ候補者や有名人に有利に働くということです。立候補者数が多ければその傾向はより強くなると思われます。

13億の再選挙を避ける

今回の市長選挙に出馬表明しているのは現職を含め10人（7／24時点）、組織票の効果がより大きく働くと思われます。一方で得票数がバラけると市税13億円を追加しての再選挙になる可能性もあります。したがって私は、できるだけ争点をハッキリさせた選挙戦にして、多くの有権者の投票行動を促すべきだと思います。

二度と騙されないために

新聞社等の調査によると、市長選挙で市民が重視する政策は①コロナ対策②ＩＲ誘致③高齢者福祉…となっていました。神奈川県では「神奈川版緊急事態宣言」というようり感染は拡大していますが、殆どの候補者が「反対」としていますが、４年前の市長選挙での「白紙」は、突然「誘致」へ変わりました。

私は、コロナ対策にはコロナの専門家が、ＩＲ・カジノについては候補者はもちろんですが、支援する政党や団体などの方針を重視すべきと考えます。二度と騙されないために。

立憲・無所属フォーラム
こんの典人事務所
緑区鴨居3-1-14-105
☎045-929-3030
FAX045-342-4330
konno@konno-norito.com
http://konno-norito.com/
市民相談を受け付けています。お気軽にご連絡下さい。